

基本仕様条件

工事名 トマト栽培温室建築工事

株式会社 明野九州屋ファーム

ハウス基本条件

施主名	株式会社 明野九州屋ファーム
建設地区	山梨県北杜市内
設計条件	耐積雪 50cm 地耐力50kN/m ² 以上 作物荷重 0.15kN/m ²
温室タイプ	: ダッチライト型丸屋根ハウス *低コスト耐候性ハウス
栽培作物	: トマト
栽培方法	: 養液栽培 長段取り
温室規模	: 栽培室: 間口9m x 17連棟 x 67m + 間口4.5m x 1連棟 x 67m + 間口9m x 17連棟 x 67m + 間口4.5m x 1連棟 x 67m 集出荷・育苗・管理・休憩室: 間口9m x 3連棟 x 67m
合計	: 栽培室: 10,552.5m ² +10,552.5m ² =21,105m ² 集出荷・育苗・管理・更衣室: 1,809m ²
勾配	: 5寸勾配相当とする
柱高	: 4.5m
柱スパン	: 4.0mスパンを基本とする。
設計基準	: (社)日本施設園芸協会「低コスト耐候性鉄骨ハウス施工マニュアル」(平成14年度版)による
補償	: 温室については3年以上の損害補償をもつものとする
その他	: 別途工事『トマト固形培地式養液栽培プラント建築工事』が平成25年11月中に施工が開始出来るよう、適切な施工計画に務めるものとする

大科目	科目	内 容
ハウス 本体工事	土工事	① 埋戻し : 基礎工事で埋め戻しが発生する場合は、根切の発生土を流用とする
		② 整地 : ハウス内部は整地を行う ハウス周辺は水はけよく整地する
		③ 残土処分 : 温室工事で発生した土は、原則として場内処分とする
	コンクリート 工事	① セメント種類 : 普通ポルトランドセメント、又は混合セメントA種のいずれかとする
		② コンクリート種類 : JIS規格に適合するレディーミクスコンクリートとする
		③ レディーミクスコンクリート : I類 若しくは、同品質保つもの
		④ 設計基準強度 : 本工事におけるコンクリート強度は指示無きは次とする 1) 均しコンクリート $f_c=16N/mm^2$ 以上 2) 有筋コンクリート $f_c=18N/mm^2$ 以上 3) 無筋コンクリート $f_c=18N/mm^2$ 以上
		⑤ コンクリート仕上 : 土間コンクリート仕上げは、原則打放しとし、建具納まり面はモルタル仕上とする
	基礎 工事	① 鉄筋工事 : JIS規格品又は同等品とする
		② 継手 : 重ね継手を原則とする
		③ 鉄筋かぶり厚 : (社)公共建築協会 公共建築工事標準仕様による
		④ 型枠 : 木製又は金属性とし、組立完了後配筋検査・アンカーボルト保持埋め込み検査後、コンクリート打設を行う。
		※低コスト耐候性ハウスタイプ基礎使用の場合、上記はメーカー仕様による
	鉄骨 工事	① 主要鋼材 : 構造計算により決定する
		② 鋼材の種類 : 原則として材質はSS400とする
		③ ハウス構造 : トラス水平梁 丸パイプφ31.8屋根構造
		④ 鉄骨表面仕上げ
		母屋 : ペンタイトメッキ同等以上のものとする
		胴縁 : ペンタイトメッキ同等以上のものとする
		柱・梁 : 溶融亜鉛メッキ同等以上のものとする
		屋根パイプ : ペンタイトメッキ同等以上のものとする
樋 工事	① 谷樋・軒樋 : 粉体塗装製、またはアルミ製の同等品 排水計画に適した勾配とし、設計降雨量は建設場所を考慮した値で行なう	
	② 縦樋 : 塩化ビニル管製以上品を使用し、設置はエルボまでとする また、振れ止め材を設置する	
アルミ 工事	① アルミ仕上げ : メーカー標準仕様による	

大科目	科 目	内 容			
ハウス本体工事	開閉装置工事	① 天窓	: アルミ・スチール併用枠 天窓 片天 W=1000とする		
		② 分轄	: 奥行き2分割とする		
		③ 天窓開閉方式	: レールスライド式天窓		
		④ 制御方式	: 設備工事(別途工事)制御システムからの信号を受け行う		
	換気設備工事	① 側面	: 2段自動巻上		
		② 妻面	: 2段手動巻上		
		③ 巻上パイプ	: φ22 (ZAMメッキ品同等以上品)		
		④ 循環扇	: 1棟で4台設置(奥行き67m)		
	建具工事	① 出入口	: 2重引込アルミ自動ドア	W2700×H2500	2ヶ所
			: 2枚アルミ引分戸	W2000×H2000	2ヶ所
			: 2枚引分けアルミ自動ドア	W2700×H2500	2ヶ所
			: 框ドア(鍵付)	W700×H2000	3ヶ所
			: 店舗用引戸4枚建	W2400×H2000	3ヶ所
			: 2枚アルミ引分戸	W3000×H2500	3ヶ所
			: アルミ引違窓	W1200×H900	7ヶ所
			: 軽量シャッター(手動)	W3000×H3500	1ヶ所
			*位置は図面参照		
	被覆工事	① 屋根	: タイキユート007 同等品		
		② 屋根(出荷・管理・休憩室)	: POフィルム 0.15 遮光率99%のものとする		
		③ 天窓	: タイキユート007+防虫ネット0.4mm目合い 同等品 *防虫ネットは内部収納式とする。		
④ 妻面		: タイキユート007+POフィルム0.15			
⑤ 側面		: POフィルム 0.15			
⑥ 裾部		: POフィルム0.2(全面FIX張りとする) ※温室周囲裾脇に幅1.0m程度で防草処理を施すこと			
誘引工事	① 誘引補強角	: 角パイプ構造とする(妻・中間部に施す)			
	② 誘引ブレース	: M12 ユニクロメッキ以上とする			
	③ 吊りブレース	: M12 ユニクロメッキ以上とする			
	④ 作物ワイヤー	: 作物荷重に耐え得る強固なものとする			
付帯設備	カーテン工事	① カーテン方式	: 妻方向開閉(妻引き) スライド式(アンチブロッキングタイプ) 同等品 2軸2層 2枚平張り・先端部分アルミリーダー材		
		② 制御方法	: 複合環境制御盤からの信号により制御する		
		③ サイド仕様	: 手動巻取り式とする。但し、出入口部分はスライド式とする		
		④ フィルム仕様			
		上 層	: フィルム遮光率55%(5年補償付)PHスクリーン同等品		
		下 層	: タフカーテン0.07mm厚 同等品		
		サ イ ド	: タフカーテン0.07mm厚		
暖房・炭酸ガス設備工事	① 加温方式	: 温風加温とする。			
	② 設定能力	: 外気温-10℃時にハウス内15℃を確保する			
	③ 制御方法	: 複合環境制御盤からの信号による制御を基本とする			
	④ 防油堤	: 現場打設にて行う			
	⑤ 消防申請	: 消防法に基づいて行なう。(消火器、看板等含む)			
	⑥ 炭酸ガス	: 炭酸ガス発生装置			

大科目	科目	内 容	
付帯設備	環境制御設備	複合環境制御盤 : 換気王PRO程度(同等品)の制御盤を使用し、各棟4系統の制御が行えるもの	
	栽培システム設	※別途工事	
	電気工事	① 1次工事 : 全て(敷地内電柱設置、キュービクルからインターフェース盤迄)	
		② 2次工事 : 温室本体に関わる、天窗開閉装置、カーテン開閉装置、循環扇、暖房機、炭酸ガス発生器、サイド巻上換気、複合環境制御盤、防除ポンプ、冷蔵庫、自動ドアエンジン、複合制御盤、コンセント、電灯の各配線結線	
		③ 仕様材料 : J I S規格適合品を基本とする	
		④ 検査(1次工事) : 電力会社の行う諸検査及び完成時の危機作動・点灯絶縁抵抗試験に合格後、引渡とする。	
	給排水設備(出荷・管理スペース)	① 靴洗場 : 1箇所	
		② シンク : 1箇所	
		③ 出荷、管理スペースの排水 : 1式 給水は、引込量水器バルブ(別途工事)から育苗室脇付近まで 排水は、靴洗い流し、選果スペースにシンクを設け、U字溝(別途工事)に配管接続とする	
	その他設備	① 防除機 : MS515MCX同等品 1台とし、附随するタンク、スプレーホースを設ける	
		② その他 : 集出荷棟の管理スペースは内装工事を施す	
		③ 選果機 : 2台設置 エトバス優秀3413G同等品	
		④ プレハブ冷蔵庫 : 4.5m*4.5m*H2.2m 2台	